

授業科目名・形態	健康課題別活動論 I	演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名			実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

障がい者（児）・精神障がい者・難病などの疾患や障害を抱えた対象に対する歴史的な保健活動の変遷や動向を踏まえ、各対象の特性と生活上の問題や健康課題を理解する。また、保健・医療・福祉の諸施策を理解したうえで、個々の対象の特性に応じた生活を支援する保健活動の方法を学ぶ。さらに、地域社会における社会資源の活用や関係機関との連携および地域ケアの体制づくりなどの基礎的な知識を理解する。

【到達目標】

1. 障がい者（児）、精神障がい者、難病を抱えた対象への保健医療福祉活動の歴史的変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 各対象の特性と生活問題や健康課題を理解できる。
3. 各対象の特性に応じた支援（保健活動）を理解できる。
4. 社会資源の活用や関係機関との連携、地域ケア体制づくりを考えることができる。

【授業計画・内容】

第1回	障がい者（児）保健福祉活動	障がい者（児）保健医療福祉の動向 I
第2回	障がい者（児）保健福祉活動	障がい者（児）保健医療福祉の動向 II
第3回	障がい者（児）保健福祉活動	障がい者（児）の健康課題と支援 I
第4回	障がい者（児）保健福祉活動	障がい者（児）の健康課題と支援 II
第5回	障がい者（児）保健福祉活動	障がい者（児）の自立支援、権利擁護
第6回	難病保健活動	難病保健医療福祉の動向
第7回	難病保健活動	難病療養者の生活と健康課題
第8回	難病保健活動	難病療養者への支援 I
第9回	難病保健活動	難病療養者への支援 II
第10回	難病保健活動	地域で生活する難病療養者の支援体制
第11回	精神保健活動	精神保健医療福祉の動向
第12回	精神保健活動	精神障がい者の生活と健康課題
第13回	精神保健活動	社会病理を背景とする健康課題と支援 I
第14回	精神保健活動	社会病理を背景とする健康課題と支援 II
第15回	精神保健活動	地域で生活する精神障がい者の支援体制

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

「社会福祉概論 I」「社会保障論 I」「障がい者（児）の福祉」「成人看護学」「精神看護学」「公衆衛生看護学実習 I・II」など 公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

公衆衛生看護学. jp 第4版 データ更新版, インターメディカル, 2019.
国民衛生の動向 2020/2021年版, 厚生統計協会, 2020.

【参考文献】

標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 2020.
最新保健学講座 公衆衛生看護活動論②, メヂカルフレンド社, 2020.
最新公衆衛生看護学 第3版 各論1, 日本看護協会出版会, 2020.

【成績評価方法】

受講態度等 (5%), 提出課題 (25%), 定期試験の成績 (70%) による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

都道府県保健所で保健師として、地域保健活動を経験
保健師としての実務経験から公衆衛生活動および公衆衛生看護活動（保健師活動）について、知識や技術を授業を通して伝えたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して、授業に臨みましょう。授業で取り上げる内容は保健師活動として、基本的な分野です。この分野から保健師国家試験の問題として出題されることが多いので、授業後はしっかり復習して確実に知識を習得しましょう。